

◆ たちあらい

議会だより

No.145

平成27年1月23日
発行／大刀洗町議会



P2

12月
議会

定住促進住宅を承認へ

P4

町政を
問う

一般質問 6人が登壇

P10

委員会
報告

基本条例をどう生かすか

P12

町民の
声

まちづくりにのぞむ議会の役割

この議会だよりは再生紙を使用しています。



定住促進住宅、学校給食民間委託などの債務計画を承認

12月議会は9日から17日までの9日間開催され、補正予算や条例改正を原案通り可決しました。
一般会計の補正予算では、西大刀洗への定住促進住宅建設や、学校給食の民間委託にかかる債務計画が賛成多数で承認されました。

一般会計補正予算

97万円を追加し、歳入の総額をそれぞれ56億7620万とする。

債務負担行為（将来にわたる債務を負担するもの）

内容	期間	限度額
定住促進住宅の整備	平成 27 年～ 57 年	6億5100万円
学校給食の業務委託	平成 27 年	4632万円
学校用務員の委託	平成 27 年	762万円

補正予算の主な追加・減額

事業名	変更額	備考
福岡県「青年の翼」研修参加費	+21万円	町職員1名分
定住促進住宅用地の測量など委託料	+350万円	
国保会計への支援金	▲2000万円	国保会計で余剰金が発生しているため
青年就農給付金	▲262万円	1名減による
町道の維持・改良費	▲1000万円	工事費の減

議員

学校給食は4校を委託して1校は直営にするのか。

課長

2年間は大堰小を直営として残り、その後は全校委託したい。

議員

「福岡県青年の翼（グローバルウイング2014）」はすでに実施済みの事業で、9月議会で追加すべきだったのではないか。

課長

11月中にすでに事業が終わっている。

※PFIとは？

民間資金主導の略。民間の資金、人材、ノウハウ等を活用して、より良い公共サービスを提供しようという制度。

議員

9月の議案に提案漏れがあり、急ぎよ12月に提案した。

課長

国民健康保険への安定化支援金の2000万円が全額削除となっているが、町側の考えは。

議員

健康保険会計には1億円余りの剰余金があり、庁内で検討し削減とした。

町長

今後の税引き下げの検討は。大刀洗の国保税が県内でも高いことは承知している。安定した運営ができるよう税についても今後検討する。

議員

この時期に道路改良費を1000万円削減するのは妥当か。

課長

減額はしたが、国の補助事業も活用しながら、予算の範囲内で効率的に工事を進めたい。

反対討論（平山）

PFI事業は運営会社の存続や家賃の設定、入居率など不透明な問題が多い。人口密集地の建設は目的に合致しない。
学校給食の民間委託は、安全と質の点から問題が発生する恐れもあり、必ずしも経費削減になるものでもない。
国保税の剰余金は県下2番目に高い国保税が原因であり、黒字を理由にした補助金の全額カットは納得できない。

衆議院選挙費用や 職員給与改正も追加

衆議院選挙費

610万円

国民健康保険会計

780万円の増額。町

11月の臨時議会でも可決。全額が国の費用でまかなわれる。

下水道会計

町職員の給与改正

923万円を追加。主

人事院勧告による。民間との格差0.27%を埋めるため。40歳以下を重点に給与水準の引き上げ。勤勉手当、通勤手当なども一部改正した。



開票作業の練習に励む町職員

町道の認定、廃止

〔新規認定〕

高樋西部土地開発区域内の道路。道路幅員は6m、道路延長は80m。

〔廃止〕

町営西大刀洗団地内の町道。定住促進住宅の建設用地として、西大刀洗団地の敷地が選考されたため。

広報委員会へ組織変更

議会報発行特別委員会を廃止して、新しく広報委員会を常任委員会として設置する。議会のホームページや各種の情報発信など、議会だよりに限らず議会の広報全般を担当する。

固定資産評価委員

任期は平成26年12月20日から3年間。



弥永 脩氏(新)

このほか、町公用車の事故にかかる損害賠償、有害鳥獣駆除の際の農作物被害の賠償(専決処分の報告)。国民健康保険条例や障害者医療に関する条文の変更などを可決しました。

議案に対する各議員の賛否(○…賛成、×…反対)

※議長は採決に加わらない。

		長野 正明	山内 剛	森田 勝典	平田 一成	花等 順子	安丸 眞一郎	林 威範	山田 英敏	平山 賢治	後藤 晴一	黒木 徳勝	平田 信将
11月臨時会	職員給与の改正、一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月定例会	条例改正(3件)、人事案件(1件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教師用パソコン購入契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○
	補正予算	一般会計											
		国民健康保険特別会計											
		後期高齢者医療特別会計、下水道特別会計											
	議員発議	大刀洗町議会委員会条例の改正											

一般質問

一般質問は、議員が町の行財政全般について現状や方針を質問し、執行機関の町長や課長が答弁します。議員1人あたりの持ち時間は、答弁を含めて60分です。議会だよりに掲載する内容は、質問者自身が要約し、広報委員会が校正したものです。質問の全文は、インターネットのほか、議会事務局、各校区センターに議事録を置いてありますのでご覧ください。



安丸眞一郎 議員

問.町制60周年の節目の取り組みを

町長 記念事業を通じて発信



50周年時に発行された記念誌

議員 2015年は、町制60周年・戦後70年の節目の年となる。町の取り組みは。多くの住民が参加できる企画を。

町長 昭和30年に大堰村、本郷村、大刀洗村の3村が合併し大刀洗町が誕生した。町としても60周年を1つの節目として記念事業を考えている。町への理解と愛着が一層深まるような事業にしたい。

議員 戦後70周年にあたり、大刀洗飛行場や空襲の歴史のある本町にとっては、風化さ

せない取り組みが重要。戦争体験者が年々高齢化していく中で、戦争の悲惨さや多くの犠牲の上に今日の平和があることを後世に伝える取り組みが急務と考えるがどうか。

町長 70周年の特別の取り組みということでなく、人権・平和学習として大刀洗空襲を題材とした講演会、平和学習会をはじめ、飛行場跡や空襲の跡地などを巡るフィールドワークなどを継続し、後世に語り継げるよう努めたい。

問.定住促進住宅はなぜ

西大刀洗なのか

町長 第二弾として条件のよい地域

議員 定住促進の事業として、西大刀洗の町営住宅跡地にPFIを活用した賃貸住宅を建設する計画がある。定住促進の意義は分かるが、菊池校区は民間アパートも多く、人口は増えつつも入れ替わりが多く、結果として地域力が弱いという課題がある。定住を推進するのであれば固定資産税など税収の面からも戸建て住宅を進めるべきと思うが、どうか。

試みであり、まずは第二弾を成功させたうえで成果と課題を検証したい。建設の方法としてはPFI方式が一番良いということで計画をしている。

町長 計画している西大刀洗団地跡地は駅や学校、医療機関や商店からの距離が近く、周辺環境整備を必要としたいため建設地として適していると考えている。

大堰や大刀洗校区についても今後検討しなければならぬと思うが、初

議員のつぶやき 町の財政にも影響する人口減対策は急務だが、事業費の30年払戻というのが気になるなあ。



後藤 晴一 議員

町政を問う！

問.通学路の安全確保を

町長 危険箇所を把握し舗装など進める

議員

通学路の緊急合
同点検で、大刀洗
町の対策が必要な箇所数
は155カ所と報告されてい
る。その後の対策は。

教育長

警察署、県、町担
当課・教育委員会
での点検や通学路ワーク
シヨップを参考に対策必要
箇所数を報告した。進行
管理は聞き取りで、進捗
率は80%に達している。今
後も関係機関と連携をと
り、安全教育、安全対策に
努める。



狭く危険な通学路(北鷯木)

は。

町長

前者は常に交通
量の多い道路と認
識している。学校側から北
鷯木公民館を目指し舗装
工事・カラー舗装の順で、
来年度までに大分自動車
道までの工事を予定して
いる。

課長

カラー舗装は通
学路の効果的な整

県道の本郷基山線は、
通学路として非常に危険
であり、改善を県に強く
要望していく。

議員

町
とし
て安全
性を高
めるカ
ラー舗
装など
を進め
るべき
と思う
が。特
に、菊
池校区
の西大
刀洗、
北鷯木
線、本
郷、基
山線は
緊急に
整備が
必要で

備方法として今後も推進
すべきと考える。

問.今限駅のトイレ設置を早く

町長 小郡市域なので調整が必要

議員

先般も質問した
が、今限駅はト
イレが整備されていない。
大刀洗北部の人口・戸数
も増加傾向にあり、町民
の利用増も考えられる。
また、駅に向かうアクセ
ス道路も、防犯の面から
街灯設置について検討す
るとのことであったがど
うか。

町長

一番の問題は、
今限駅が小郡市
域であり、直接交渉がで
きず甘木鉄道を通じ協議
している。もうしばらく
時間がほしい。

課長

トイレ設置の経
費負担について、
甘鉄推進協議会の事務局
と近々協議する予定であ
る。



トイレのない今限駅

議員の

通学路の改善は
全国的な緊急対策。
今限駅は町外で
あっても、大刀洗
の発展に大きい存
在。町も積極的な
施策を。

一般質問

問.賃貸住宅建設を選んだ理由は

町長 ほかにいい策があれば示してほしい



林 威範 議員



定住促進住宅の建設予定地(西大刀洗)

議員 数ある定住促進施策の中から賃貸住宅建設(PFI)を選んだ理由は。

町長 このPFIよりものはるかにいいというものがあれば示してほしい。

議員 そこを議員も一緒に考えたいと思っている。新築せずに家賃補助ではいけないのか、結論

に至った経緯が分からない。事業説明当初は自治体負担がゼロになるという説明だったが、入居率が下ると自治体負担が生じるのではないのか。

課長 30年間、入居率90%で約4千万円の黒字、それを改修費にあてる。入居率80%でプラスマイナスゼロになると積算している。

議員 家賃減額の必要性や最終的には取り壊し費用もかかる。しっかりとリスク分析してほしい。

この事業で最も大切なのはSPC(特別目的会社)のチーム作りと言われている。地元企業中心のチームが作れるのか。

町長 地元業者の理解はある程度得ら

れていると思う。地元企業の加入によって評価を加点するので心配していない。

議員 家賃設定をみるのと、菊池校区内のアパートからの転居が進むのではないのか。アパート所有者と話したのか。

町長 アパート所有者と話す予定はない。建設予定地は町有地でもあり、西大刀洗地区は開発するような場所がないため、モデルケースとしたい。

議員 みやき町の2棟目のPFI住宅では1回目の募集では埋まらず再募集がかかっている。福岡近郊などへのPRも考えているのか。

町長 PRについては今後考えていく。

議員 本事業は賃貸住宅であるため、最終的には他の定住策が必要ではないか。

町長 これで十分とは思っていない。戸建てを持てるように進めていくのが一番いいと思うが、農地を開発しないと難しい。新しくできた優良田園住宅制度について勉強していきたい。

議員 総務省の直近の調査では、日本の空き家率は13.5%。このままいくと2040年には3軒に1軒が空き家になるとの予想もある。定住については、空き家の活用なども幅広く考えてほしい。

他にサマーレビューについて質問した。

議員のつぶやき 人口減、空き家増の時代に賃貸住宅建設が時代錯誤だと感じるの私だけでしょうか。



黒木 徳勝 議員

町政を問う！

問.佐田川橋の架け替えは

町長 地元協議で要望をおこなう

議員

県道14号線の床島につながる佐田川橋について。現在県が測量をし、橋は大刀洗町のほうに架けられると聞いているが、地元への説明は。また、家屋もあり用地買収も必要と思われるが。

町長

県に何回も要望調査が行われている。どの辺を通すかは現在検討中。堤防も3〜4m高くなるような計画がされているようだ。



老朽化がすすむ佐田川橋

課長

今年の3月に地元の床島、高食、鳥飼の区長に説明を行い、全体的に測量調査が実施された。今後の予定は、26年度に事業開始、27年1〜2月ころボーリング調査および地質調査、27、28年度で用地買収の予定。工事にかかる住宅移転についても県の物件補償で考えられているようだ。今の桂川橋と佐田川橋は撤去の方向で地元説明会をする予定と聞いている。

議員

新しい橋が架け替わり、旧河川敷に敷地が残れば、グラ



町営住宅はどうなるか(西大刀洗)

議員

定住促進住宅について、町営住宅の跡地に建てるということだが、町営住宅の今後の供給計画は。また定住促進建設について対策委員会を設置する考えはないか。

町長

町営住宅は徐々に数を減らしていったほうがいいのでは

問.町営住宅の今後の計画は

町長 徐々に減らす方向で

ウンドゴルフ場や公園敷地とするなど地元の要望を取り入れて交渉してもらいたい。

議員のつぶやき

①交渉によって環境も変化するが、地元のアイデアを望む。
②対策委員の将来構想を期待したい。

一般質問

問.定住促進は不急の事業では

町長 人口減に対応する必要な事業



平山 賢治 議員



建設済みのみやき町を調査

議員 PFI方式による町の住宅建設は、全国的にも前例が少なく、諸課題が解決していないのでは。

そもそも過疎地域の振興と定住を図るべきで、民間アパートが集中する地域への建設は事業の本旨と違うのではないか。

町長 事業の第二弾として、適切な立地と考える。建設予定は30戸足らずであり、民業圧迫はあたららない。

議員 PFI事業は、過去にも大型破たん

したり、大手事業者を利用するための制度として批判も大きい。リスク負担や長期の債務返済、運営をどう考えるか。

町長 過去には破たん事例があつたが、近年の公営住宅事業では発生していない。運営にあつては第三者による経営の監視とリスク分担が重要になるので協議を進めている。

議員 地元の建設業者への説明や、適切な工事単価、近年の工事原価高騰などへの対策は。

課長 不適切な切り下げなどがないよう指導したい。

原材料や人件費の高騰については、仮に建設費の増加が発生した場合は、管理企業側と協議の中で町側のリスク軽減に努める。

問.給食民間委託の諸問題は

教育長 適切に移行する

議員 来年度から4校の給食を民間委託するとの計画だが、調理員の雇用や、調理・食材の質、また保護者への説明などの課題は。

教育長 業者については、企画提案方式により、選定し、現在の町の嘱託調理員を引き続き雇用するなど、現状と同じ程度の体制を維持したい。食材は町が発注するので質の低下には該当しないと考え。学校の担当委員会への説明、広報の掲載などで理解を得たい。

問.子育て新制度の十分な周知を

教育長 必要に応じて検討

議員 27年度から保育制度が大きく変わり、保育時間や保育料など、保護者の不安は大きい。久留米市では保護者説明会を複数回行っているが、大刀洗町はどうか。申請状況を踏まえて十分な周知が必要ではないか。

議員のつぶやき
どの問題でも住民・当事者への徹底した説明を。

教育長 町の広報や申込み者への書類で周知し、窓口でも説明を行う



花等 順子 議員

町政を問う！

問.マンパワー活用の町づくりを

町長 人を活用し健康づくりに取り組む



健康体操教室(本郷)

議員

健康寿命を延ばすためには、経済活動を含む生きがいづくり、体力づくり、支え合いの地域づくりが必要。少ない財源で効果的な事業をするには人の活用しかない。

25年度から始まった健康体操教室の27年度の取り組みは。

町長

運動機能が低下した高齢者の方々のu p p教室は週1回

議員

3カ月を1単位として3クール実施する。(定員15名ほど)。校区センターで週1回実施している健康体操教室は、行政区の公民館で実施するようにし、町をあげて健康づくりに取り組んでいく。

町長

現在サポーターは20人。サポーターや地域のリーダー育成を計画し、町民

議員

認知症の人の在宅で生活していくには、地域の理解と支援が必要。認知症サポーター養成講座を数多く開けないか。

町長

今年は、2小学校の4年生と民生委員会が開いた。今年度中に残りの学校と役場職員に対して実施する予定。今後はもっと多くのところ

議員

これからは徘徊高齢者の把握と対策が必要となる。今は認知症の理解が低い。ため認知症を隠している人が多いが、情報を共有して支え合いの仕組みをつくる必要があると思うが。

町長

認知症高齢者の正確な人数は把握していないが、高齢者生活アンケート調査で大まかな割合は判明している。小地域協議会で定期的な情報交換が行われており、地域での把握はできている。今は、高齢者など徘徊SOSネットワークの広域連携で対応している。

議員

隣近所の声かけをはじめ、地域の人

活動など、いろんな人のマンパワーを生かしたまちづくりをどう考えるか。

町長

顔の見える隣近所や地域での支え合いや協力が重要であり、今後も地域と連携をとりながら、高齢者の方々が安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいく。老人クラブの活動は今まで主に社協がかかわってきたが、今後は実情に合わせて、老人クラブと町、社協で協議していきたい。

他に、「空き家バンク制度」について質問した。

議員のつぶやき

今からのまちづくりはマンパワーの活用につきます。そのためには人づくりを！

研修 報告1

議会基本条例をどう生かすか 議会改革特別委員会

議会の活性化について、嬉野市議会と太良町議会を視察した。

嬉野市

議会報告会は年2回開催し、前期は予算を、後期は決算を重点とした報告。その後市民から意見、陳情などどんな要望でも受けている。出された要望は議会が取りま

太良町

○議会報告会ではなく対話形式で区長会や民生委員会とひざを交えた対話会議として開催している。老人会とも実施予定。



○閉会中も議案について、各常任委員会が現場を調査し、問題点を明確化し、委員長が次の議会で報告している。議会活

めて行政に回答を求めている。議会の常任委員会は、所管する町内の団体と年1回は必ず意見交換会を行っている。また、議会報で「あなたも議員になりませんか」と議員立候補を呼びかけているのは印象的であった。

本町議会でも基本条例制定が目的ではなく、手段であることを肝に銘じている。

毎月1回の討論を活発におこない、閉会中でも重要な案件について常に実態調査することは必要と思う。

大刀洗町の報告会は参加者が減る傾向にあるが、参加を待っただけでなく町内団体へ出かけて意見交換会を実施するなど、町民に信頼される議会を築きたいと再認識した。

研修 報告2

定住促進住宅の建設は 建設経済委員会

大刀洗町は9月、西大刀洗の町営住宅跡地に25世帯程度の集合住宅を建設する計画を発表した。

30年後には1万9200人に減少すると予測されている。町は定住促進を担当する課を新設し、民間の資金と技術力を活用して、公共施設を整備する場所を選定しており、PFI方式による定住促進住宅建設は成功していると思われる。しかし5年、10年と経過すると、新たな問題点も発生する可能性がある。

みやき町は、平成17年3月に中原、北茂安、三根の3町が合併し誕生した町であり、推計によると人口2万5700人が

すでに入居済みのみやき町の住宅



すでに入居済みのみやき町の住宅

完成し、20戸が入居済みである。現在は2棟目も建築中で、周辺には役場支所、保育園、幼稚園、中学校があり、数十件の

我が町で考えてみると、環境が違うなど、果たしてうまくいくか不安な点もある。

財政、地域との関連、その他の定住促進の方法など、さまざまな課題を審議しながら、よりよい事業の実現にむけ議会でも議論を進めたい。

研修報告3

介護予防の取り組みを研究

総務文教厚生委員会

27年度から介護保険が

改正され、要支援1・2の事業は自治体の仕事となり、今まで以上に市町村の介護予防への取り組みが重要になってくる。委員会では10月20日・21日に臼杵市と行橋市を視察した。

臼杵市

○お達者ボランティア

65歳以上の人が介護施設でボランティアをすればポイントがつく制度。

○認知症対策

認知症の正しい知識の普及啓発を官民学が連携して推進している。

「認知症サポーター養成講座」を市民の11%が受講している。

○安心生活お守りキット

本町の「命のボタン」と同じであるが、情報を役所のコンピュータで管理し、毎年更新している。

ボランティア制度や認知症対策等、人づくりを中心にまちづくりがなされている。

行橋市

○あんしん情報セット

命のボタンの活用と同じ。

○SOSネットワーク

徘徊高齢者の支援が必要な人を把握し、警察などとも連携している。

○認知症対策

「認知症サポーター養成講座」を各地で開催。「脳の健康学習塾」（くもん式）を週1回3ヵ月コースで開催している。

○ふれあいいきいきサロン

3ヵ月コースの体操教室を受講した人がサポーターとなり、公民館で体

操を取り入れたサロンが開かれている。参加者を7～10年間追跡調査して経過を分析している。

みんなで支え合う行橋市の福祉のまちづくりは、地域づくり・人づくり・仕組みづくりからなっており、行政が手取り・足取り事業を展開するのはなく、住民自らが「自分の問題」として、地域づくりに参加する制度になっている。地域の人材を活用して、少ない予算で効果的な施策が実現している。

研修報告4

伝える広報から、伝わる広報へ

議会報発行委員会

2日間、自治会館において研修。個別に添削も受けた。

○広報誌が議会改革の先頭に立つ

○伝える広報から伝わる広報へ

見出し、レイアウト、分かりやすい用語など基本的な指導。

本町の議会だよりも、議会改革の推進に合わせ、報告会や追跡記事など新しい企画を紙面として情報発信している。

結果ではなく、経過を詳細にお知らせするという方針で、質疑内容や討論を掲載している。

課題としては、さらに見やすいレイアウト、特集記事の検討、編集方針の明文化による紙面作成など。

来年度からはホームページの管理など議会の広報活動全般を担当するのでさらに研究を進めたい。





まちづくりののぞむ 議会の役割



北山隈

岩橋 正人さん

大刀洗町に住んで35年。
大きな自然災害もなく、
田園風景が広がり本当に
のどか長閑で住みやすい所だと思
います。

サラリーマンの時は福岡
市に通勤していました。途
中、民営化で国鉄甘木線
の廃止が決まったものの、
甘木鉄道が開業し、安堵
したので覚えています。自
然あふれる地域でありな
がら大都市にも近く、高
速道のインターチェンジもあ
り、どこへでも短時間でア
クセスできる利点もありま
す。

一方、今後は我が町も少

子高齢化がさらに進んでい
くだろうし、核家族化が
拡大し、空き家も今以上
に増加すると思います。一
見小さなことでも大きな
課題になることもあるで
しょう。逆に小さな町だか
らこそ実現できることもあ
ると思います。

大刀洗はバランスのとれた
いい町ですが、これと言っ
た基幹産業がない中で、今
後何でもやっていけるかとい
うのは、経常収支比率が
良い町とは言え非常に大き
な課題です。

私も議会だよりを読み、
町議会の一般質問を何度か

傍聴しましたが、議員の
質問に対し、執行部が回
答し、それで終了するとい
うものが多々見受けられま
す。

もともと地域代表の色
彩が強かった議会ですが、
今後は町行政と課題を共
有し、町民の意見を反映
させて共に実行と、より大
局的見地から政治を進め
てほしいと願っています。

議会を傍聴しませんか



3月議会
3月5日開会

一般質問は
3月15日(日)
(いずれも予定です)

どなたでも自由に傍聴できます。

お問い合わせ
☎77-4112(議会事務局)

大刀洗町議会ホームページ

大刀洗町議会

検索

<http://www.town.tachiarai.fukuoka.jp/gikai/>

編集後記

あわただしい総選挙も終
わり、第三次安倍内閣が発足
しました。将来の人口減に歯
止めをかけ、明るい希望を持
つことができるよう、行政も
議会も共に努力していかな
ければならないと思ってい
ます。

今年から、議会報発行委員
会を常任委員会に改組し、広
報活動のさらなる充実を図
ります。

厳しい財政状況が続いて
いますが、この一年が皆様に
とってよい年でありますよ
うお祈り申し上げます。

(平田信将)

議	委	委	副	広
長	員	員	委員長	報委員長
長	森	後	林	平
野	田	藤	平	山
正	勝	晴	威	賢
明	典	一	範	治

【表紙の風景】
成人式のレセプション。
あちこちで記念撮影が

